

取扱説明書

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告 この表示欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意 この表示欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

⚠ 警告

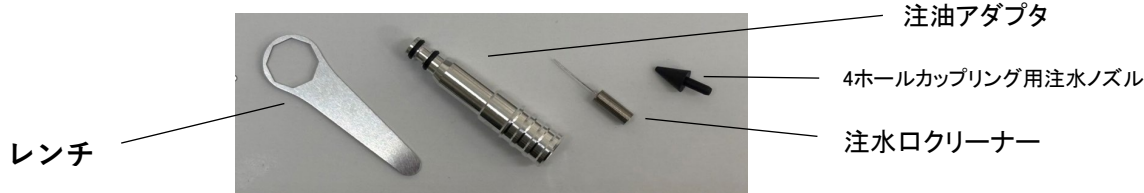
- ・回転中、着脱ボタンを押さないように注意してください。ボタンが押されて回転中のカートリッジに接触し発熱したり、バーが抜け口腔内に飛び出す恐れがあり危険です。特に頬側部での使用の際は注意してください。

⚠ 注意

- ・獣医師及び法的有資格者以外は、本製品を操作しないこと。
- ・使用する前にこの取扱説明書を読み、各部の機能をよく理解してから使用を開始してください。
- ・患者の安全を第一に考え、使用には十分注意を払ってください。
- ・医療機器の操作、保守点検の管理責任は、使用者側にあります。
- ・取扱説明書に記載されていない改造・分解をしないでください。
- ・落下等の強い衝撃を与えないでください。
- ・切削時は安全、健康のため保護眼鏡、マスク等を着用してください。
- ・使用中、少しでも異常を感じたら使用を中止して、販売店まで連絡してください。
- ・酸化電位水(強酸性水、超酸性水)、または滅菌液で、洗浄、浸漬、拭き取りをしないでください。
- ・本製品は未滅菌品です。使用前に必ず滅菌してください。
- ・長期間使用していない機器を使用するときには、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認してください。
- ・使用中の万一の故障等に備え、スペアのセットを用意することを推奨します。
- ・LED光を直接見ないでください。

付属品の名称

付属品が揃っているかご確認ください。



各部の名称

キャップ

着脱ボタン

4ホールカップリング

※4ホールカップリングはユニットに付属です。

テストバー

LEDライト



ハンドピースの着脱

ハンドピース本体を4ホールカップリングから引き抜いてください。

装着時はハンドピースを4ホールカップリングにカチッとなるまで押し込んで下さい。

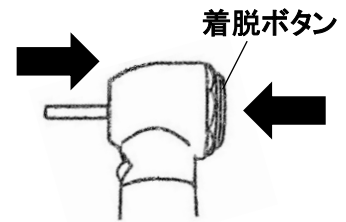
バーの着脱

取り付け

1. バーを突き当たるまで軽く挿し込みます。
2. 着脱ボタンを押しながら、バーをチャックの奥まで挿し込み、着脱ボタンを離します。
3. バーを押し引きして確実に装着されていることを確認します。

取り外し

着脱ボタンを押しながらバーを取り外します。



⚠ 警告

- ・ 回転中にバーの着脱を行わないでください。着脱ボタンが押されないように注意してください。
- ・ 以下のようなバーは使用しないでください。これらのバーを使用しますと、回転中に折れたり、抜けたりする恐れがあります。
 - 曲り、変形、サビ、欠け、折れ、磨耗の激しいバー
 - 刃や軸に傷がついたバー
 - JIS規格外、後加工を施したバー
- ・ バーの製造販売者が指定した回転数を超えて等、指定の仕様を超えて使用しないでください。

⚠ 注意

- ・ バーの取り扱いについては、バーメーカーの指示に従ってください。
- ・ 使用前にバーを取り付け、患者の口腔外で回転させて、バーの振れ、振動、音、発熱等の異常が無いことを確認してください。

使用前点検

使用前にキャップのゆるみの確認を行い、患者の口腔外で回転させて点検をしてください。点検時、または使用時にバーの振れ、振動、音、発熱等の異常を感じた場合、使用を中止し、販売店まで連絡してください。

使用後のお手入れ（清掃・注油・消毒・滅菌）

1. 表面清掃

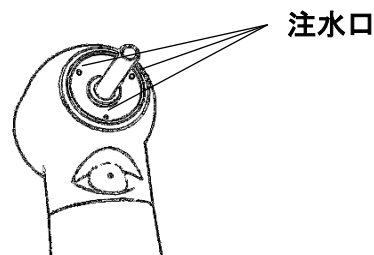
ハンドピースをホースから取り外し、テストバーを装着します。必ずテストバーを装着して清掃してください。切削粉などがチャック内部に入らないようにします。

ブラシなどで表面の切削粉や血液などの汚れを落とします。アルコールを布等につけて表面清掃をする場合は、よく絞った状態で行ってください。カートリッジ内に液剤が入らないようにしてください。

⚠ 注意

- ・ 薬品による浸漬は行わないでください。ハンドピースの変色、劣化、故障の原因となります。
- ・ 超音波洗浄は行わないでください。ハンドピースの故障の原因となります。

2. 注水口が詰まったり、注水が十分に出ない場合は、付属の注水口クリーナーで注水口へ挿し込み清掃します。

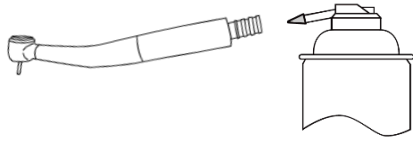


⚠ 注意

- ・ 注水口に注水口クリーナーを無理に挿し込まないでください。注水口が変形し、バーに注水が適切に当たらないなどの不具合の原因になります。

3. ハンドピース内部の清掃（市販洗浄スプレー使用時）

ハンドピースに注油アダプタを装着し、下部からスプレーをしてください。
ヘッド部から汚れたオイルが出るので、ペーパータオルなどでヘッド部を覆って行ってください。
汚れたオイルが出なくなるまで行います。
注油後、油が垂れてきますので、数分間ハンドピースを立てかけておくか
本体を振って油が垂れなくなってからホースに接続して下さい。



4. 滅菌（オートクレーブ 134℃ / 3分）

滅菌バッグに清掃したハンドピースをいれ、滅菌工程のみを行います。

⚠ 注意

- ・薬液の付着した器具と一緒にオートクレーブ滅菌すると、表面が変色したり、内部部品に影響を与えます。オートクレーブ滅菌器の中には薬液が入らないように注意してください。
- ・保管の際は気圧、温度、湿度、風通し、日光、埃、塩分、硫黄分を含んだ空気などにより悪影響が生じる恐れのない場所に保管してください。
- ・ハンドピース内部に血液などの汚れが残ったままオートクレーブ滅菌すると、固着して故障の原因になります。オートクレーブ滅菌前は、必ず十分な洗浄、注油を行ってください。
- ・急加熱、急冷却するようなオートクレーブ滅菌は行わないでください。温度の急激な変化により部品が劣化します。
- ・本製品ではオートクレーブ滅菌以外の滅菌方法の効果は確認していません。
- ・滅菌直後は高温となっていますので触れないように注意してください。

5. 注油

オートクレーブ後は、必ず再度 3. の手順で注油を行ってください。

⚠ 注意

- ・注油は必ずハンドピースが常温に戻ってから行ってください。
- ・注油後、テストバーを装着し20秒程度回転させてください。

カートリッジの交換

交換には弊社製スペアカートリッジJX-M2を使用してください。

カートリッジは最低一年に一回の交換をしてください。

又、下記の症状がある場合はすぐにカートリッジ交換してください。

- ・空気圧メーターが0.2MPa以上を示しているが、バーが回転しない。
- ・バーが緩む、抜ける。
- ・着脱ボタンを押してもバーが抜けない。
- ・異音、異常な振動がする。

交換方法

1. 付属のレンチでキャップを回し外してください。
2. 内部のカートリッジを取り出し、カートリッジハウジング内部を注油スプレーで清掃して下さい。
3. 新しいカートリッジと交換します。
4. キャップをレンチで回して、しっかり留めてください。
但し、締めすぎると破損する可能性があるため、締めすぎないように注意してください。



仕様

販売名	: エアータービンハンドピース MS-Air36K
一般的名称	: 歯科用ハンドピース
機器の分類	: 動物用 一般医療機器
届出番号	: 7動薬第1938号
最大回転数	: 360,000rpm
チャック	: プッシュ方式

アフターサービス

本体には保証書が添付されています。保証書は、必ず販売店印及び購入日を確認の上、購入した販売店から受け取り、内容をよく読み、大切に保存してください。保守部品の弊社の保有期限は、製品の製造を中止してから3年です。この期間を修理可能期間とします。部品仕入れの関係で担保できなくなる可能性があります。

スペアパーツ


- ・ カートリッジ
- ・ キャップ
- ・ レンチ
- ・ 注水ノズルクリーナー

製品廃棄

廃棄時の作業者の健康上のリスク、廃棄物による環境汚染のリスクを防ぐため、医療機器の感染性廃棄物は医師、または歯科医師が非感染状態であることを確認し、特別管理産業廃棄物の許可業者に運搬または処分を委託してください。不明な点は購入した販売店まで連絡してください。

製品に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店、または発売元:(有)エムエスグループにて承ります。

発売元: **(有)エムエスグループ**
〒520-2102 滋賀県大津市松が丘7-11-1
TEL 077-549-2197 FAX 077-549-2198
E-mail : info@msgroup.jp

許可番号 元製販療Ⅲ第69号
製造販売元:  **株式会社ナルコム**
〒384-2107 長野県佐久市蓬田1251番地239

本書の内容に関しては、改善のため予告なく変更することがあります。

(第1版 2025.12)

取扱説明書

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告 この表示欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意 この表示欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

⚠ 警告

- ・回転中、着脱ボタンを押さないように注意してください。ボタンが押されて回転中のカートリッジに接触し発熱したり、バーが抜け口腔内に飛び出す恐れがあり危険です。特に頬側部での使用の際は注意してください。

⚠ 注意

- ・獣医師及び法的有資格者以外は、本製品を操作しないこと。
- ・使用する前にこの取扱説明書を読み、各部の機能をよく理解してから使用を開始してください。
- ・患者の安全を第一に考え、使用には十分注意を払ってください。
- ・医療機器の操作、保守点検の管理責任は、使用者側にあります。
- ・取扱説明書に記載されていない改造・分解をしないでください。
- ・落下等の強い衝撃を与えないでください。
- ・切削時は安全、健康のため保護眼鏡、マスク等を着用してください。
- ・使用中、少しでも異常を感じたら使用を中止して、販売店まで連絡してください。
- ・酸化電位水（強酸性水、超酸性水）、または滅菌液で、洗浄、浸漬、拭き取りをしないでください。
- ・本製品は未滅菌品です。使用前に必ず滅菌してください。
- ・長期間使用していない機器を使用するときには、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認してください。
- ・使用中の万一の故障等に備え、スペアのセットを用意することを推奨します。
- ・LED光を直接見ないでください。

付属品の名称

付属品が揃っているかご確認ください。



各部の名称



ハンドピースの着脱

外す時はハンドピースをモーターから引き抜いてください。

装着する時はハンドピースをモーターに押し込みカチッとなるまで回してください。

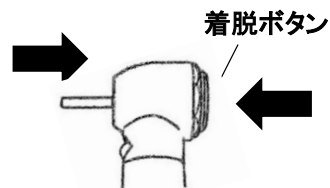
バーの着脱

取り付け

1. バーを突き当たるまで軽く挿し込みます。
2. 着脱ボタンを押しながら、バーをチャックの奥まで挿し込み、着脱ボタンを離します。
3. バーを押し引きして確実に装着されていることを確認します。

取り外し

着脱ボタンを押しながらバーを取り外します。



⚠ 警告

- ・ 回転中にバーの着脱を行わないでください。着脱ボタンが押されないように注意してください。
- ・ 以下のようなバーは使用しないでください。これらのバーを使用しますと、回転中に折れたり、抜けたりする恐れがあります。
 - 曲り、変形、サビ、欠け、折れ、磨耗の激しいバー
 - 刃や軸に傷がついたバー
 - JIS規格外、後加工を施したバー
- ・ バーの製造販売者が指定した回転数を超えて等、指定の仕様を超えて使用しないでください。

⚠ 注意

- ・ バーの取り扱いについては、バーメーカーの指示に従ってください。
- ・ 使用前にバーを取り付け、患者の口腔外で回転させて、バーの振れ、振動、音、発熱等の異常が無いことを確認してください。

使用前点検

使用前にキャップのゆるみの確認を行い、患者の口腔外で回転させて点検をしてください。点検時、または使用時にバーの振れ、振動、音、発熱等の異常を感じた場合、使用を中止し、販売店まで連絡してください。

使用後のお手入れ（清掃・注油・消毒・滅菌）

1. 表面清掃

ハンドピースをホースから取り外し、テストバーを装着します。必ずテストバーを装着して清掃してください。切削粉などがチャック内部に入らないようにします。

ブラシなどで表面の切削粉や血液などの汚れを落とします。アルコールを布等につけて表面清掃をする場合は、よく絞った状態で行ってください。カートリッジ内に液剤が入らないようにしてください。

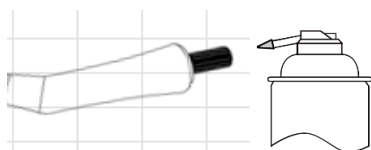
⚠ 注意

- ・ 薬品による浸漬は行わないでください。ハンドピースの変色、劣化、故障の原因となります。
- ・ 超音波洗浄は行わないでください。ハンドピースの故障の原因となります。

2 ハンドピース内部の清掃（市販洗浄スプレー使用時）

ハンドピースに注油アダプタを装着し、下部からスプレーをしてください。ヘッド部から汚れたオイルが出るので、ペーパータオルなどでヘッド部を覆って行ってください。汚れたオイルが出なくなるまで行います。

注油後、油が垂れてきますので、数分間ハンドピースを立てかけておくか本体を振って油が垂れなくなってからホースに接続して下さい。



3 滅菌（オートクレーブ 134℃ / 3分）

滅菌バッグに清掃したハンドピースをいれ、滅菌工程のみを行います。

⚠ 注意

- ・ 薬液の付着した器具と一緒にオートクレーブ滅菌すると、表面が変色したり、内部部品に影響を与えます。オートクレーブ滅菌器の中には薬液が入らないように注意してください。
- ・ 保管の際は気圧、温度、湿度、風通し、日光、埃、塩分、硫黄分を含んだ空気などにより悪影響が生じる恐れのない場所に保管してください。
- ・ ハンドピース内部に血液などの汚れが残ったままオートクレーブ滅菌すると、固着して故障の原因になります。オートクレーブ滅菌前は、必ず十分な洗浄、注油を行ってください。
- ・ 急加熱、急冷却するようなオートクレーブ滅菌は行わないでください。温度の急激な変化により部品が劣化します。
- ・ 本製品ではオートクレーブ滅菌以外の滅菌方法の効果は確認していません。
- ・ 滅菌直後は高温となっていますので触れないように注意してください。

4 注油

オートクレーブ後は、必ず再度 3. の手順で注油を行ってください。

⚠ 注意

- ・ 注油は必ずハンドピースが常温に戻ってから行ってください。
- ・ 注油後、テストバーを装着し20秒程度回転させてください。

アングルヘッドの交換

交換には弊社製スペア アングルヘッド(H-PL1)を使用してください。

- ・ 空気圧メーターが0.2MPa以上を示しているが、バーが回転しない。
- ・ バーが緩む、抜ける。
- ・ 着脱ボタンを押してもバーが抜けない。
- ・ 異音、異常な振動がする。

交換方法

1. 矢印の部分を左回りで止まるまで回してください。
2. ヘッドが抜けます。
3. 新しいヘッドを1.で回し切った状態と同様にしてから奥まで差し込んでください。

1.



2.



3.



仕様

販売名	: 等速コントラアングルハンドピース MS-4CA
一般的名称	: 歯科用ハンドピース
機器の分類	: 動物用 一般医療機器
最大回転数	: 40,000rpm
使用バー	: ISO 1797-1 Type1 ϕ 2.35mm CA
チャック	: プッシュ方式
届出番号	: 7動薬第1939号

アフターサービス

本体には保証書が添付されています。保証書は、必ず販売店印及び購入日を確認の上、購入した販売店から受け取り、内容をよく読み、大切に保存してください。保守部品の弊社の保有期限は、製品の製造を中止してから3年です。この期間を修理可能期間とします。部品仕入れの関係で担保できなくなる可能性があります。

スペアパーツ


- ・ アングルヘッド
- ・ レンチ

製品廃棄

廃棄時の作業者の健康上のリスク、廃棄物による環境汚染のリスクを防ぐため、医療機器の感染性廃棄物は医師、または歯科医師が非感染状態であることを確認し、特別管理産業廃棄物の許可業者に運搬または処分を委託してください。不明な点は購入した販売店まで連絡してください。

製品に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店、または発売元:(有)エムエスグループにて承ります。

発売元: **(有)エムエスグループ**
〒520-2102 滋賀県大津市松が丘7-11-1
TEL 077-549-2197 FAX 077-549-2198
E-mail : info@msgroup.jp

製造販売元:  **株式会社ナルコーム**
〒384-2107 長野県佐久市蓬田1251番地239

許可番号 元製販療Ⅲ第69号

本書の内容に関しては、改善のため予告なく変更することがあります。

(第1版 2025.12)

5倍速コントラアングルハンドピース MS-20CA

取扱説明書

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告 この表示欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意 この表示欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

⚠ 警告

- ・ 回転中、着脱ボタンを押さないように注意してください。ボタンが押されて回転中のカートリッジに接触し発熱したり、バーが抜け口腔内に飛び出す恐れがあり危険です。特に頬側部での使用の際は注意してください。

⚠ 注意

- ・ 獣医師及び法的有資格者以外は、本製品を操作しないこと。
- ・ 使用する前にこの取扱説明書を読み、各部の機能をよく理解してから使用を開始してください。
- ・ 患者の安全を第一に考え、使用には十分注意を払ってください。
- ・ 医療機器の操作、保守点検の管理責任は、使用者側にあります。
- ・ 取扱説明書に記載されていない改造・分解をしないでください。
- ・ 落下等の強い衝撃を与えないでください。
- ・ 切削時は安全、健康のため保護眼鏡、マスク等を着用してください。
- ・ 使用中、少しでも異常を感じたら使用を中止して、販売店まで連絡してください。
- ・ 酸化電位水(強酸性水、超酸性水)、または滅菌液で、洗浄、浸漬、拭き取りをしないでください。
- ・ 本製品は未滅菌品です。使用前に必ず滅菌してください。
- ・ 長期間使用していない機器を使用するときには、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認してください。
- ・ 使用中の万一の故障等に備え、スペアのセットを用意することを推奨します。
- ・ LED光を直接見ないでください。

付属品の名称

付属品が揃っているかご確認ください。



各部の名称



ハンドピースの着脱

外す時はハンドピースをモーターから引き抜いてください。

装着する時はハンドピースをモーターに押し込みカチッとなるまで回してください。

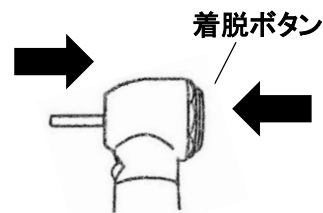
バーの着脱

取り付け

1. バーを突き当たるまで軽く挿し込みます。
2. 着脱ボタンを押しながら、バーをチャックの奥まで挿し込み、着脱ボタンを離します。
3. バーを押し引きして確実に装着されていることを確認します。

取り外し

着脱ボタンを押しながらバーを取り外します。



⚠ 警告

- ・ 回転中にバーの着脱を行わないでください。着脱ボタンが押されないように注意してください。
- ・ 以下のようなバーは使用しないでください。これらのバーを使用しますと、回転中に折れたり、抜けたりする恐れがあります。
 - 曲り、変形、サビ、欠け、折れ、磨耗の激しいバー
 - 刃や軸に傷がついたバー
 - JIS規格外、後加工を施したバー
- ・ バーの製造販売者が指定した回転数を超えて等、指定の仕様を超えて使用しないでください。

⚠ 注意

- ・ バーの取り扱いについては、バーメーカーの指示に従ってください。
- ・ 使用前にバーを取り付け、患者の口腔外で回転させて、バーの振れ、振動、音、発熱等の異常が無いことを確認してください。

使用前点検

使用前にキャップのゆるみの確認を行い、患者の口腔外で回転させて点検をしてください。点検時、または使用時にバーの振れ、振動、音、発熱等の異常を感じた場合、使用を中止し、販売店まで連絡してください。

使用後のお手入れ（清掃・注油・消毒・滅菌）

1. 表面清掃

ハンドピースをホースから取り外し、テストバーを装着します。必ずテストバーを装着して清掃してください。切削粉などがチャック内部に入らないようにします。

ブラシなどで表面の切削粉や血液などの汚れを落とします。アルコールを布等につけて表面清掃をする場合は、よく絞った状態で行ってください。カートリッジ内に液剤が入らないようにしてください。

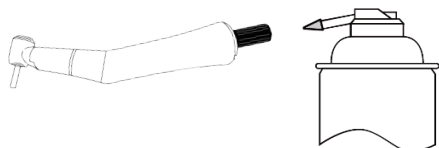
⚠ 注意

- ・ 薬品による浸漬は行わないでください。ハンドピースの変色、劣化、故障の原因となります。
- ・ 超音波洗浄は行わないでください。ハンドピースの故障の原因となります。

2 ハンドピース内部の清掃（市販洗浄スプレー使用時）

ハンドピースに注油アダプタを装着し、下部からスプレーをしてください。ヘッド部から汚れたオイルが出るので、ペーパータオルなどでヘッド部を覆って行ってください。汚れたオイルが出なくなるまで行います。

注油後、油が垂れてきますので、数分間ハンドピースを立てかけておくか本体を振って油が垂れなくなってからホースに接続して下さい。



3 滅菌（オートクレーブ 134℃ / 3分）

滅菌バッグに清掃したハンドピースをいれ、滅菌工程のみを行います。

注意

- ・薬液の付着した器具と一緒にオートクレーブ滅菌すると、表面が変色したり、内部部品に影響を与えます。オートクレーブ滅菌器の中には薬液が入らないように注意してください。
- ・保管の際は気圧、温度、湿度、風通し、日光、埃、塩分、硫黄分を含んだ空気などにより悪影響が生じる恐れのない場所に保管してください。
- ・ハンドピース内部に血液などの汚れが残ったままオートクレーブ滅菌すると、固着して故障の原因になります。オートクレーブ滅菌前は、必ず十分な洗浄、注油を行ってください。
- ・急加熱、急冷却するようなオートクレーブ滅菌は行わないでください。温度の急激な変化により部品が劣化します。
- ・本製品ではオートクレーブ滅菌以外の滅菌方法の効果は確認していません。
- ・滅菌直後は高温となっていますので触れないように注意してください。

4 注油

オートクレーブ後は、必ず再度 3. の手順で注油を行ってください。

注意

- ・注油は必ずハンドピースが常温に戻ってから行ってください。
- ・注油後、テストバーを装着し20秒程度回転させてください。

仕様

販売名	: 5倍速コントラアングルハンドピース MS-20CA
一般的名称	: 歯科用ハンドピース
機器の分類	: 動物用 一般医療機器
届出番号	: 7動薬第1940号
最大回転数	: 200,000rpm
使用バー	: JIS T 5504-1 軸部形式3 (φ 1.60)
チャック	: プッシュ方式

アフターサービス


本体には保証書が添付されています。保証書は、必ず販売店印及び購入日を確認の上、購入した販売店から受け取り、内容をよく読み、大切に保存してください。保守部品の弊社の保有期限は、製品の製造を中止してから3年です。この期間を修理可能期間とします。部品仕入れの関係で担保できなくなる可能性があります。

製品廃棄

廃棄時の作業者の健康上のリスク、廃棄物による環境汚染のリスクを防ぐため、医療機器の感染性廃棄物は医師、または歯科医師が非感染状態であることを確認し、特別管理産業廃棄物の許可業者に運搬または処分を委託してください。不明な点は購入した販売店まで連絡してください。

製品に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店、または発売元:(有)エムエスグループにて承ります。

発売元: (有)エムエスグループ
〒520-2102 滋賀県大津市松が丘7-11-1
TEL 077-549-2197 FAX 077-549-2198
E-mail : info@msgroup.jp

製造販売元:  株式会社ナルコム
許可番号 元製販療Ⅲ第69号
〒384-2107 長野県佐久市蓬田1251番地239

本書の内容に関しては、改善のため予告なく変更することがあります。

(第1版 2025.12)

取扱説明書

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告 この表示欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意 この表示欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

⚠ 警告

- ・ 回転中、着脱ボタンを押さないように注意してください。ボタンが押されて回転中のカートリッジに接触し発熱したり、バーが抜け口腔内に飛び出す恐れがあり危険です。特に頬側部での使用の際は注意してください。

⚠ 注意

- ・ 獣医師及び法的有資格者以外は、本製品を操作しないこと。
- ・ 使用する前にこの取扱説明書を読み、各部の機能をよく理解してから使用を開始してください。
- ・ 患者の安全を第一に考え、使用には十分注意を払ってください。
- ・ 医療機器の操作、保守点検の管理責任は、使用者側にあります。
- ・ 取扱説明書に記載されていない改造・分解をしないでください。
- ・ 落下等の強い衝撃を与えないでください。
- ・ 切削時は安全、健康のため保護眼鏡、マスク等を着用してください。
- ・ 使用中、少しでも異常を感じたら使用を中止して、販売店まで連絡してください。
- ・ 酸化電位水(強酸性水、超酸性水)、または滅菌液で、洗浄、浸漬、拭き取りをしないでください。
- ・ 本製品は未滅菌品です。使用前に必ず滅菌してください。
- ・ 長期間使用していない機器を使用するときには、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認してください。
- ・ 使用中の万一の故障等に備え、スペアのセットを用意することを推奨します。
- ・ LED光を直接見ないでください。

付属品の名称

付属品が揃っているかご確認ください。



注油アダプタ

各部の名称



テストバー

バー着脱時回転部

ハンドピースの着脱

外す時はハンドピースをモーターから引き抜いてください。

装着する時はハンドピースをモーターに押し込みカチッとなるまで回してください。

バーの着脱

取り付け

1. バーをしっかりと差し込んだ状態で矢印の部分で左回りにカチッとなるまで回します。
2. バーを押し引きして確実に装着されていることを確認します。

取り外し

矢印の部分で右回りにカチッとなるまで回してください。
バーが外れます。



⚠ 警告

- ・ 回転中にバーの着脱を行わないでください。着脱ボタンが押されないように注意してください。
- ・ 以下のようなバーは使用しないでください。これらのバーを使用しますと、回転中に折れたり、抜けたりする恐れがあります。
 - 曲り、変形、サビ、欠け、折れ、磨耗の激しいバー
 - 刃や軸に傷がついたバー
 - JIS規格外、後加工を施したバー
- ・ バーの製造販売者が指定した回転数を超えて等、指定の仕様を超えて使用しないでください。

⚠ 注意

- ・ バーの取り扱いについては、バーメーカーの指示に従ってください。
- ・ 使用前にバーを取り付け、患者の口腔外で回転させて、バーの振れ、振動、音、発熱等の異常が無いことを確認してください。

使用前点検

使用前にキャップのゆるみの確認を行い、患者の口腔外で回転させて点検をしてください。点検時、または使用時にバーの振れ、振動、音、発熱等の異常を感じた場合、使用を中止し、販売店まで連絡してください。

使用後のお手入れ（清掃・注油・消毒・滅菌）

1. 表面清掃

ハンドピースをホースから取り外し、テストバーを装着します。必ずテストバーを装着して清掃してください。切削粉などがチャック内部に入らないようにします。

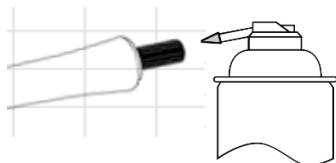
ブラシなどで表面の切削粉や血液などの汚れを落とします。アルコールを布等につけて表面清掃をする場合は、よく絞った状態で行ってください。カートリッジ内に液剤が入らないようにしてください。

⚠ 注意

- ・ 薬品による浸漬は行わないでください。ハンドピースの変色、劣化、故障の原因となります。
- ・ 超音波洗浄は行わないでください。ハンドピースの故障の原因となります。

2 ハンドピース内部の清掃（市販洗浄スプレー使用時）

ハンドピースに注油アダプタを装着し、下部からスプレーをしてください。ヘッド部から汚れたオイルが出るので、ペーパータオルなどでヘッド部を覆って行ってください。汚れたオイルが出なくなるまで行います。



3 滅菌（オートクレーブ 134℃ / 3分）

滅菌バッグに清掃したハンドピースをいれ、滅菌工程のみを行います。

⚠ 注意

- ・薬液の付着した器具と一緒にオートクレーブ滅菌すると、表面が変色したり、内部部品に影響を与えます。オートクレーブ滅菌器の中には薬液が入らないように注意してください。
- ・保管の際は気圧、温度、湿度、風通し、日光、埃、塩分、硫黄分を含んだ空気などにより悪影響が生じる恐れのない場所に保管してください。
- ・ハンドピース内部に血液などの汚れが残ったままオートクレーブ滅菌すると、固着して故障の原因になります。オートクレーブ滅菌前は、必ず十分な洗浄、注油を行ってください。
- ・急加熱、急冷却するようなオートクレーブ滅菌は行わないでください。温度の急激な変化により部品が劣化します。
- ・本製品ではオートクレーブ滅菌以外の滅菌方法の効果は確認していません。
- ・滅菌直後は高温となっていますので触れないように注意してください。

4 注油

オートクレーブ後は、必ず再度 3. の手順で注油を行ってください。

⚠ 注意

- ・注油は必ずハンドピースが常温に戻ってから行ってください。
- ・注油後、テストバーを装着し20秒程度回転させてください。

仕様

販売名	: 等速ストレートハンドピース MS-4ST
一般的名称	: 歯科用ハンドピース
機器の分類	: 動物用 一般医療機器
届出番号	: 7動薬第1942号
最大回転数	: 40,000rpm
使用バー	: 2.35mm HP bur for STRAIGHT
チャック	

アフターサービス


本体には保証書が添付されています。保証書は、必ず販売店印及び購入日を確認の上、購入した販売店から受け取り、内容をよく読み、大切に保存してください。保守部品の弊社の保有期限は、製品の製造を中止してから3年です。この期間を修理可能期間とします。部品仕入れの関係で担保できなくなる可能性があります。

製品廃棄

廃棄時の作業者の健康上のリスク、廃棄物による環境汚染のリスクを防ぐため、医療機器の感染性廃棄物は医師、または歯科医師が非感染状態であることを確認し、特別管理産業廃棄物の許可業者に運搬または処分を委託してください。不明な点は購入した販売店まで連絡してください。

製品に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店、または発売元:(有)エムエスグループにて承ります。

発売元: (有)エムエスグループ
〒520-2102 滋賀県大津市松が丘7-11-1
TEL 077-549-2197 FAX 077-549-2198
E-mail : info@msgroup.jp

許可番号 元製販療Ⅲ第69号
製造販売元:  株式会社ナルコム
〒384-2107 長野県佐久市蓬田1251番地239

本書の内容に関しては、改善のため予告なく変更することがあります。

(第1版 2025.12)